

第2回吹田市ホームページ管理システム更新等業務委託プロポーザル選定委員会 議事要旨

日時	令和3年8月6日(金)09:30~10:15
場所	高層棟7階 会議室
出席者	[委員]秘書長(委員長)、危機管理室長、情報政策室参事、障がい福祉室参事、市民総務室主幹 [評価部会]評価部会長 [事務局]広報課

1 委員の交代の報告

[委員長]

人事異動に伴い、危機管理室からの出席委員が交代した。

2 一次審査結果(案)の承認について

[事務局からの説明]

前回6月7日の第1回選定委員会以降の経過について説明。
各事業者から提出のあったCMS機能要件対応表の採点集計について説明。

本日は評価部会の一次審査結果(案)を選定委員に確認いただき、必要に応じて内容修正のうえ、一次審査結果として承認し、二次審査対象者を決定してもらいたい。

[評価部会長からの報告]

提案書審査の一次審査結果(案)について説明。上位3者の二次審査対象者について報告。

[委員からの質問・意見等]

- (1) 必須項目における、□及び△のマイナス1点やマイナス2点の違いはどのようなものか。
- (2) ある業者は必須項目の一部で×がついているが、仮に事業者を選定された場合は運用の中で何とかなる項目なのか。
- (3) 一次審査結果の点数のつけ方はどのように実施したのか。評価部会として取りまとめる際のプロセスはどのような方法だったのか。
- (4) IP-VPNの回線を利用する場合、別途通信回線を準備する必要がある。その費用が事業者の見積に含まれているのか、別途市で用意が必要なのか。
- (5) 金額によって提案のばらつきはあるのか、各社ともに提案上限金額に近い価格で提案しているのか。
- (6) 今回の評価は金額を見ずに採点されているということでもいいか。
その場合、どの事業者が価格が安くて提案が薄くなっている等がわかっていない中で審査し、そのまま足切りするという認識でいいか。
- (7) このシステムは今後ランニング費用は発生しないのか。提案上限額約3600万円に含まれるのか。
- (8) デザインについて、最優秀提案者の提案と異なるデザインが良いとなった場合、最優秀提案者と調整する余地はあるのか。

[回答]

- (1) □と△を記載した場合は備考欄に代替方法を記載してもらった。その記載内容について評価を行い、代替方法として認められるものはマイナス1点、認められない場合は×と同様に扱いマイナス2点としている。
- (2) 最終的には運用で回避又はカスタマイズをしてもらうことになる。業者の捉え方と吹田市側の意図がずれていることにより×をつけている可能性があるため、要件定義の過程で確認し、実現方法の調整が必要になると思う。
- (3) 第2回評価部会において委員による協議を行い、評価が異なっていた部分のすり合わせを行い、評価部会による最終評価点を決定した。

- (4) プレゼンの際に質問してほしい。
- (5) 提案事業者によって金額のばらつきはある。安い費用で機能を薄くして提案するか、高い費用で機能満載とするかは事業者の考え方となる。
事務局としては、価格の安さ重視ではなく、機能を充実してほしい。その考え方から、通常は価格点を全体の15%目安とされているところ、本プロポーザルでは価格点の割合を抑えて10%に設定している。
- (6) 評価部会は金額を見ずに評価・採点している。
事業者には配点と一次・二次審査の評価項目を公表しているので、事業者の方で価格と機能のバランスを考えて提案していただいていると思う。
- (7) 約3600万円は構築費のみである。運用保守費用は別途660万円を上限にしている。
価格点については、構築費・5年間の運用保守費用の総合計を審査することになっている。
- (8) あくまでも提案であるため、最優秀提案者との調整はおそらく可能である。

[決定事項]

一次審査結果を承認し、上位3社を二次審査対象事業者と決定。

3 二次審査について

[事務局からの説明]

- ・価格審査、デモンストレーション審査の概要
- ・プレゼンテーション審査の概要

[委員からの質問・意見等]

- (1) プレゼン審査表に前日のデモ審査の点数が記載されていると思うが、選定委員がその結果を見て、影響されないかという懸念がある。
- (2) ((1)を受けて)
むしろデモ審査の点数を書かれていた方が、補助情報としてプレゼン審査に活用できるのでよいと思う。

[回答]

デモ審査の結果の点数については、プレゼン審査を聞く中で選定委員が修正できるようにする予定である。

[決定事項]

二次審査の実施内容について承認。